

特許紹介

第26巻第11號 昭和14年1月

芯型鉄管自動抜取装置

(特許第 131337 號 發明者 栗田豊吉)
(特許権者 日本高圧パイプ株式会社)

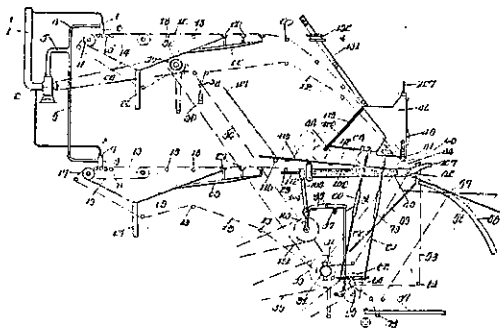
此の發明は、石棉セメント管から其の芯型鉄管を容易に而かも自動的に抜取り得るやう設計したものである。

石棉セメント管製造機械

(特許第 131335 號 發明者 特許権者 同上)

此の機械は、石棉セメント管を得る原料を芯型管(44)に巻付け、之が所定の厚さに達した時、右側下部に位置してゐる押圧ローラー(42)を下降させて、外周に石棉セメント管を形成してゐる芯型管を容易に而も迅速に次に送り出し、次に送り得るやう準備した芯型管が給送帯(12)(13)の集合部(40)に來た時、前記の降下した押圧ローラー(42)は上昇し、他の2個の押圧ローラー(41)(43)に依り再び芯型管に所定の強圧力の下に於て、給送帯により送られる原料を巻付け得る操作を容易且つ自動的ならしめたものである(図-1)。

図-1.



水田等の灌漑水取入口自動閉塞装置

(特許第 131469 號 發明者 特許権者 中村西次郎)

本装置は、水位測定機と取入口閉塞機との2部から成り、兩者をロープ等に依り連結したものである。水位測定機(図-2)は、被筒(1)及覆蓋(3)を以て保護せられてゐる、浮子(5)は水位に応じ昇降し、其の昇降により閉塞機の方の重量蓋(23)(図-3)が自動的に開閉するやう、係合片(16)、拘止杆(10)、拘止片(20)等を設けたものであつた。

図-2.

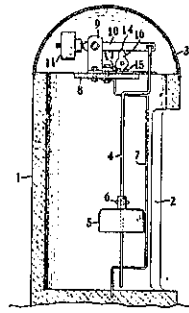
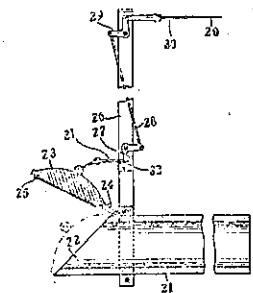


図-3.

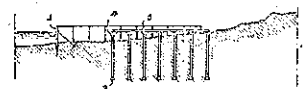


堅硬なる基礎を有する埋立地盤の形成方法

(特許第 13106 號 發明者 特許権者 木田保造)

此の發明は、重量築造物を築造する豫定地たる埋立地に疎め基礎構格を構築するものであつて、從來埋立地に重量築造物を築造する場合は埋立地を掘返して基礎工を施す如き煩雜と不經濟を除去したものである。即ち埋立を爲すべき沿岸の假護岸又は擁壁内の所要面積を圍む輪廓の土地の所要の配置に所要数の堅坑を掘鑿し、所要の深さの堅盤上に、夫々礎底(3)を施工し(図-4)、之等に夫々支柱(4)を樹立し、地表上に於て之等の頭部を夫々横梁で連結して構格を形成し、後後漁船からの送泥法に依り假護岸内に埋立を行ふのである。

図-4.



地質調査方法

(特許第 131523 號 發明者 堀野正吉 著佐及作)
(特許権者 逓信大臣)

油田の探索に於て、ガス及油は常に砂、砂石、又は龜裂を有する石灰石の如き多孔層内に含有せられる外、含水層も亦常に多孔層に相當するから、かくの如き多孔層の存否を知る事は之等の油田、含水層を探索する場合甚だ重要である。又地層の誘電率は之に含有する水分の量に依り著しく異なるもので本發明は之を利用して掘鑿孔を穿ち、孔の種々の地層に沿へる深さに於て之等地層の誘電率の分布状況を適當方法で測定する事に依り多孔層を検出すると同時に多孔層が含水層であるか油田

であるかを判定するのである。即ち油田と岩石又は含水層とを判別する爲には掘鑿孔に泥水をも充填し、其の水頭を或る値に保持した状態で誘電率の分布状況を測定し、次に其の水頭を高上せしめた状態で再び分布状況を測定し、之等の分布状況を比較して判断するのである。

即ち水頭を高上せる場合誘導率の変化の割合も最大なる地層は多孔層で且つ誘電率の小なる溶媒を含有する地層即ち油田等の如きものなる事、又誘電率が小で且つ変化なきものは岩盤の如きものなる事、誘電率の値大で且つ変化なきものは含水層で含水量多きものなる事が知り得る。

浮船渠の改良

(特許第 13180 號 發明者 尾崎敬太郎 特許権者 尾崎敬太郎)

此の船渠は、平常に於ては之を分解して運搬收藏に便ならしめ、必要に応じ之を水中に於て船体の下で組立て然る後水を排除する事に依り、主として中型以下の船舶の船底の清掃用に供せんとするものである。其の構造は、軽い材料で作つた断面略 U 字形で

適當の厚さを有する多數の素材 (2~18)

を次々に重ねて長い極状とし、其の兩端の開放面を遮壁を以て閉塞し全体を一体に結合して上面を開放した水密性の面体としたものである (圖-5)。图中 (21) は連結棒、(25) は排水装置を示す。

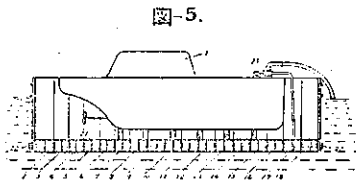


圖-5.

建築用壁体

(特許第 131721 號 發明者 村方武時 特許権者 村方武時)

本壁体は、全体を陶器製又はセメント又は硝子製とし表面部に任意の裝飾を施し、表板 (1) と裏板 (2) とを左右の側板 (3) (4) に依り連結し、側板 (3) には凹溝 (5) を側板 (4) には凸片 (6) を附し、更に其の上下に切欠部 (7), (8) を設け、内部に鉄筋を組立てコンクリートを

圖-6.

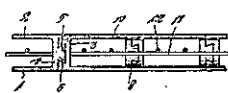
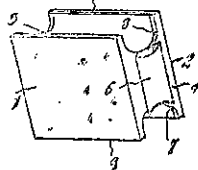


圖-7.



填充凝固せしめるもので、コンクリートの填充に依り隣接のものに互に流入混合して全体の接着が良好で、且つ表面に仕上加工を爲す必要がない利益がある (圖-6, 7)。

濾過体

(特許第 131761 號 發明者 伊藤長太郎 特許権者 リゲナイド株式会社)

本濾過体は、石棉若くはグラスウールの如き耐熱耐蝕性纖維状物と人造レジン (若くは之を主とし少量の他の可炭化質物を加へたもの) とを混和練合し、之を圧搾して塑成賦形した後 400°C 以上に加熱して可炭化質部を炭化せしめたもので、其の質粘土素焼物の如く脆弱なる缺點がなく削成鑿孔自由で且つ活性度が高い濾過性能を有すと謂はれる。

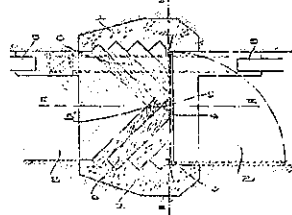
坑内防水ダム

(特許第 131513 號 發明者 村松金藏 特許権者 村松金藏株式会社)

従來坑内防水ダムは出水の水圧が一般に高压なる爲、鉄製の頑丈なるフレームド ドアを蝶番で閉閉する様に構成したものであるが、此の種のものは全荷重 (水圧を靠て受ける爲に大なる曲げモーメントが作動し之が爲必然的に頑丈なものを必要とし又一方に於て扉の周縁のみで周壁コンクリートに接してゐる爲其の構造も複雑且つ尨大となる缺點がある。然るに本發明に従へば、全荷重を坑道に 45° の角度を以て多數の耐圧斜材

を左右兩側から上下に積上げ全部坑圧材として支持するやうに構成した爲曲げモーメントが何等作用しない、従つてフレームド ドアの必要なく單に漏水を防止する爲薄鉄板 1 枚を圖-8 の如く設ければ足る事となり構造簡單堅牢で且つ低廉なる利點がある。

圖-8.



(附) 登録實用新案

- 軌道鋪裝保護山形鋼取付装置 (第 270669 號 實用新案 公告 14 年第 357 號)
- 制水扉の漏水止め装置 (第 270150 號 實用新案 公告 14 年第 3819 號)
- 水門扉の下部隅所に對する 滲洩防止装置 (第 27151 號 實用新案 公告 11 年第 3800 號)
- 制水門扉等の漏水防止装置 (第 27159 號 實用新案 公告 14 年第 639 號)
- 鐵道聯動機假設挺子装置 (第 270744 號 實用新案 公告 14 年第 2805 號)